

試料・情報分譲申請用研究計画書(概要)

審査委員会 受付番号	2017-1003	利用するもの	情報:地域住民コホート・三世代コホート情報		
主たる研究機関	東北メディカル・メガバンク機構		分担 研究機関	オムロン株式会社	
研究題目	ToMMo2次調査における生活習慣測定デバイスを活用した家庭での身体活動、食事、睡眠の測定および各生活習慣要因と家庭血圧値との関連性についてのコホート研究		研究期間	平成29年4月～平成30年3月	
実施責任者	寶澤 篤	所属	東北メディカル・メガバンク機構	職位	教授
研究目的と意義	ウェアラブル生活習慣測定デバイスを用いて、ToMMo2次調査に合わせて2週間、家庭血圧と尿Na/K比、身体活動、睡眠状況を測定していただいたデータ(特定の個人を識別できないように加工されたもの)に基づき、各生活習慣要因と家庭血圧値との関連から、個々人の血圧変動要因の層別と高血圧のリスク予測を検討する。				
研究計画概要	ToMMo2次調査に合わせて2週間、家庭にてデバイスを用いた血圧、身体活動、食事、睡眠(*睡眠計測のみ実施個所を限定し実施)を測定したデータ(特定の個人を識別できないように加工されたもの)を5000例を目標に実施する。 当該データと対応するゲノム情報、年齢・性や肥満・飲酒等の基礎データ(特定の個人を識別できないように加工されたもの)を突合する。 甲及び乙は、上記のデータに基づき、個別最適な医療の実現に不可欠な個々人の血圧変動要因の層別と高血圧のリスク予測を検討する。 本共同研究の成果物は「個々人の血圧変動要因の層別と高血圧のリスク予測の解析方法策定」とする。				
期待される成果	<ul style="list-style-type: none"> ・従来の測定よりもデバイスデータを用いた方がより家庭血圧の説明ができる ・さらに遺伝情報を用いることで、より精度の高い家庭血圧の説明ができる ・各デバイスデータが家庭血圧に与える影響を検討し、高血圧改善のためのモデルを構築 ・さらに遺伝情報を用いることで、より精度の高いモデルを構築 				
これまでの倫理 審査等の経過お よび主な議論	承認番号:2016-4-007 平成29年4月17日 東北メディカル・メガバンク機構倫理委員会				
倫理面、セキュリ ティー面への配慮	個人情報保護法、人を対象とする医学系研究に関する倫理指針等を遵守して、適切な研究の遂行に努める。				
その他特記事項	企業等との共同研究				
* 公開日	平成29年10月18日				